

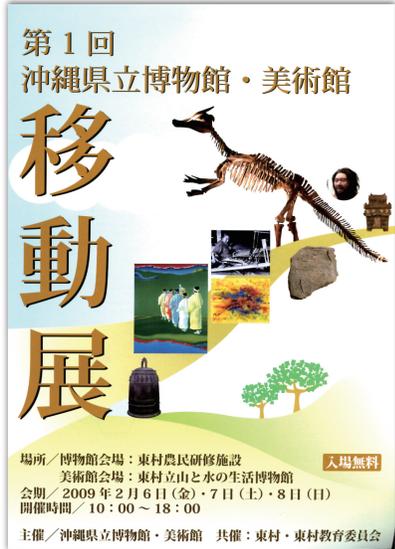
移動展

※下記は、旧沖縄県立博物館から沖縄県立博物館・美術館へ移行した後に開催された移動展の紹介です。

移動展は、沖縄県立博物館・美術館に日常的に足を運ぶことが難しい離島の方々に対して、県民共有の財産である博物館資料や美術品の数々をご覧いただく機会を提供する趣旨から、毎年開催しています。

第1回 移動展 in 東村

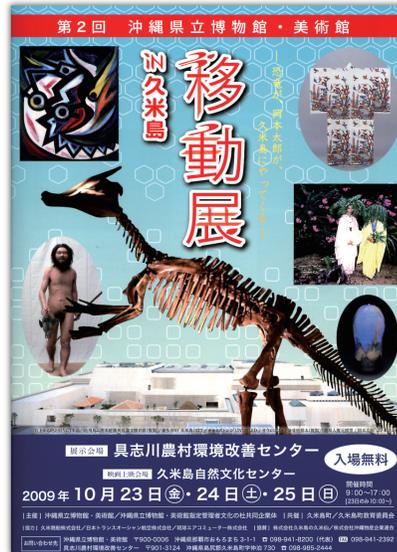
会期：2009年2月6日（金）～8日（日）
 場所：東村農民研修施設（博物館展示）
 東村立山と水の生活博物館（美術館展示）



宜野湾市や今帰仁村など、東村以外の来館者も多くみられました。東村教育委員会の協力をはじめ、折り込みチラシや新聞記事、テレビで紹介されたことも、たくさんのお客様に足を運んでいただいた理由の一つでしょう。北部出身作家の具志堅誓謹氏を招へいし、アーティストトークを開催しました。作品解説に加え、他の作家の作品の技法についても解説いただきました。

第2回 移動展 in 久米島

会期：2009年10月23日（金）～25日（日）
 場所：具志川農村環境改善センター（展示会場）
 久米島自然文化センター（映画上映会場）



初日のオープニングセレモニーで一瞬太陽が顔を出しましたが、台風の影響により、会期中は雨が降り続けました。25日（日）に予定されていた久米島マラソンが中止となったことも影響し、来場者数は前年を上回る結果となりました。「山城知佳子（美術家）ワークショップ」では、作家が島内の中学生と一緒に、お年寄りから戦争体験の話を書く様子映像化し、上映しました。

第3回 移動展 in 石垣

会期：2010年10月29日（金）～31日（日）
 場所：石垣市民会館



台風14号が過ぎ去った直後とあり、会期中は連日曇っていましたが、過去最高の来場者を集めました。地元新聞社2社への記事掲載や、折り込みチラシ等の広報活動が多く来場者の増加につながったと考えられます。八重山高校美術部の生徒が、展示監視ボランティアとして参加し、作品とお客様の安全管理を行いました。また、「キッズキュレーター」では、崎枝中学校の児童が学芸員のレクチャーをもとに、名瀬山愛順の作品を解説し、鑑賞者の興味関心を深めました。

第4回 移動展 in 宮古

会期：2012年2月3日（金）～5日（日）
 場所：宮古島市中央公民館（メイン会場）
 宮古島市総合博物館（サブ会場）



宮古島市総合博物館の協力のもと、博物館常設展示室を無料開放しました。当館学芸員3人による講演会も開催。新聞などでも大きく紹介されました。昨年引き続き宮古高校の有志の学生が、展示監視ボランティアとして活動しました。また、博物館友の会による移動展キャラバン隊（ボランティア）は、宮古に関わりのある方を中心に15人が参加し、展示の解説や体験サポートなど、お客様と展示物との懸け橋となりました。

第5回 移動展 in 粟国

会期：2012年11月16日（金）～17日（土）
 場所：粟国村離島振興総合センター・島あしび館



粟国村の方々に広報活動も積極的に協力していただき、島民の約60%にご来場いただくことができました。会場では、地元の方と学芸員、ボランティアスタッフがコミュニケーションをとりながら、観覧の様子が印象的でした。また、関連催事として、学芸員による講座のほか、今回初めて開催する野外観察会、キュレータートークや鑑賞ツアーなど開催。小さなお子様からお年寄りまで楽しむことができました。

予告 第6回 移動展 in 渡名喜

会期：2013年11月予定